

どうして風はふくのですか。

風は空気の流れです。

空気はあたためると、ふくらんで軽くなり、上にあがっていく性質(せいしつ)があります。

ぎゃくに、冷やすと、ちいさくなって重くなり、下にさがってくる性質(せいしつ)があります。

空気が、あがったりさがったりするこの流れを、「対流(たいりゅう)」といいます。

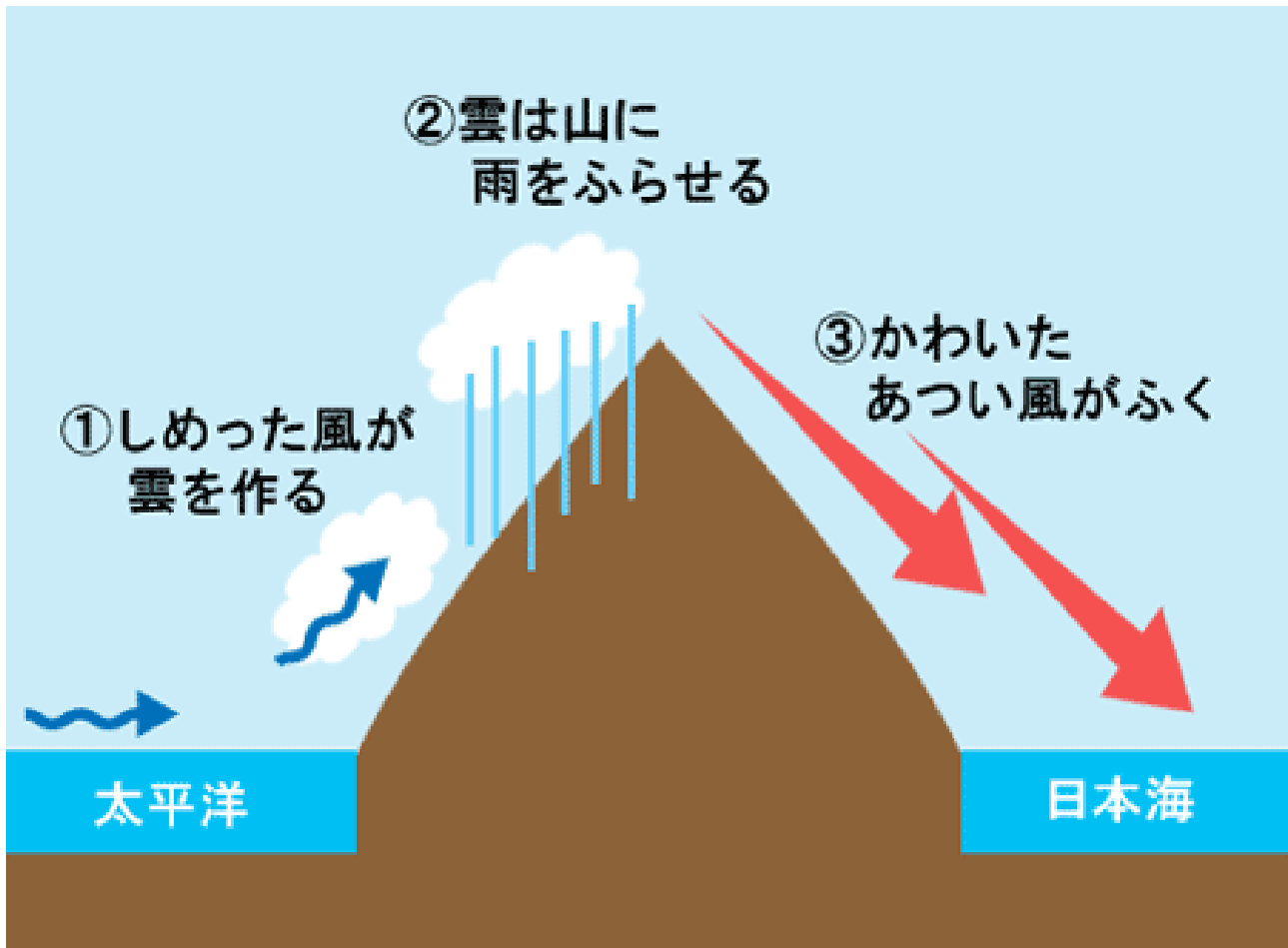
空気が対流(たいりゅう)することによって、風がふくわけです。



フェーン現象(げんしょう)ってなんだろう？

天気予報などでときどき聞く、「フェーン現象(げんしょう)」ってなんでしょう？

フェーン現象(げんしょう)とは、山からかわいた暖(あたた)かい風が、ふきおりてくることをいいます。



- ①しめった風が山をのぼりながら雲を作ります。
- ②雲は山に雨をふらせます。
- ③雨をふらせたあとは雲がなくなり、風がかわいて、高温の強風になって、ふきおりてきます。

この風は、春に日本海側でおこります。

あつくて、かわいた風なので、山でなだれがおきたり、山火事になることもあります。

「フェーン」というのは、もともとはドイツ語で、アルプス山脈にふく、かわいた暖(あたた)かい風のことで、それが日本でも一般的に使われるようになりました。

